

大学と家庭をむすぶ

GROWTH

後援会通信
グロース
vol. **32**
2018
SPRING

語り合う
T G U
TALK

変えていく、かなえていく。
未来の扉を開く。



仙台市長

郡 和子

学長

松本宣郎

仙台市長 郡和子さんを迎えて

変えていく、かなえていく。 未来の扉を開く。

昨年8月、本学出身者としては初の仙台市長が誕生しました。在校生・卒業生は母校に対する自負と誇りを新たにするとともに、地元仙台出身の首長のリーダーシップに大きな期待を寄せています。女性活躍のシンボル、ロールモデルとして注目する学生もいます。これを機に市民活動に興味を持ち、後に続く人材が誕生するかもしれません。実はこの対談が行われたのは2018年の3月末。郡市長は年度末の多忙な執務の間隙を縫って、土樋キャンパスに足を運んでくださいました。会議や式典で顔を合わせることの多い市長と学長の会話はすぐに広がり、自身の学生時代の思い出から大学や地域の未来まで、大いに盛り上がりました。

出合いや経験が成長の源に

松本 郡市長、本日はお忙しい中、ようこそおいでくださいました。

郡 お招きいただき、ありがとうございます。「ホーイ記念館」に入るのは初めてですが、明るくておしゃれな建物で驚きました。1階のラウンジは市民の方も利用されているようですね。

松本 焼き立てのパンが食べられるベーカリーカフェとして人気です。土日のご家族連れで賑わっていますよ。私たち

が目指す“地域に開かれたキャンパス”のひとつの姿です。郡市長はどのような学生時代を過ごされましたか。

郡 私が学んでいた1970年代後半は、高度経済成長を経た安定成長期とされていますが、日本はまだ貧しく、もちろん若者の多くは物質的に恵まれていたわけではありませんでした。しかし、右肩上がりの経済動向にあって、頑張ればより豊かになれるという希望が持てた時代



だったと思います。学生の本分は古今東西問わず学業であろうかと思いますが、私は学問の世界に没頭するというよりは、「社会」を学びのフィールドとしていたような学生でした。

松本 学問は机上と実践の両輪でこそ成るものですからね。

郡 故・五十嵐之雄教授のゼミに所属し、街に出てマーケティング調査をしたり広告の効果を考察したりしました。私の興味と志向性にマッチした研究スタイルだったと思います。ゼミの同期生に大友康平君(ロックバンド「ハウンド・ドッグ」ボーカル)がいて、一緒に学んだのも懐かしい思い出です。

松本 放送部でもご活躍されていたようですが、早くから卒業後の進路を視野に入れておられたのでしょうか。

郡 五十嵐教授に「マスコミ志望です」と申し上げたら、これじゃいかんと思われたのでしょうか(笑)。もっと時事に関する知識を深めなければならぬとおっしゃってレクチャーをしてくださったのです。それも英字新聞の社説をテキストにする方法でしたから、なかなかタフな就職試験対策となりました。先生方の温かなご支援のおかげで、将来の道を拓くことができました。松本学長が学生でいらした時代は、落ち着いて学修・研究する雰囲気ではなかったのではないのでしょうか。

松本 私の母校(東京大学)では、大学紛争が苛烈を極めました。そんな“嵐の季節”が過ぎ去った後、大学院に戻り、念願だった「キリスト教史」の研究に取り組み始めたのです。

郡 私が在学していた頃には、構内や部室の壁に学生運動の中で書かれたと思われるメッセージが少し残っている程度で、その微文(げきぶん)から当時の雰囲気が垣間見られたくらいでした。

松本 大学紛争に対してはさまざまな分析・評価がありますが、同じ時代の空気に触れた者としては深く考えさせられ、「権力と人間」の関係性に思いを致すようになりました。これは私の研究の根底を支える主題です。

郡 私たちはさまざまな出合いや経験を通じて、自身を成長させる新しい気付きを得ているのですね。私も報道制作を通じて多くの現場に臨むうちに、問題を抱え、自分の力では苦境から抜け出せない人々がおられることを知りました。個人の努力ではいかんともしがたい壁、つまり社会の慣習や制度があるのだとしたら、それを変えられるのは政治の力しかないと思いました。

松本 弱者というのは、声を挙げられない人々です。私の研究テーマである初期キリスト教徒も社会的マイノリティであり、古代ローマ帝国の中で迫害を受けながら生きなければなりません。しかし、帝国は弾圧一辺倒ではなかったというのが私の結論であり、それまでの歴史認識に再起を促すものでした。何事も一方的な見方ではなく、多様な視点で見つめることが大切ですね。それがお互いの理解や寛容につながっていくのだと思います。

仙台市長

郡 和子 × 松本 宣郎 学長

歴史のうえに築かれる 未来への道

郡 仙台は「杜の都」として全国に知られていますが、「学都」としての歴史と潜在力を備えた街です。古くは仙台藩の藩校・養賢堂に始まり、明治年間には第二高等中学校（1887年）、東北帝国大学（1907年）が設置されました。中でも明治初期に相次いで創設されたミッション系の私立学校が果たしてきた役割は、非常に大きいものがあると思います。

松本 そうですね。「仙台神学校」を源とする東北学院は130年以上の歴史を誇っています。現在のような地域を代表する教育機関に成長することができたのも、キリスト教の教えを導き、苦難の時代を乗り越えてきた先達の努力と忍耐があったからこそでしょう。そして今、次なる100年を見据えた新しい風が吹いています。



私たちに何ができるのか、を問い続けなければならないと思います。

郡 震災時、東北学院大学はいち早く災害ボランティアステーションを立ち上げ、学生ボランティアの拠点的作用を果たしてきました。卒業生として大きな誇りを感じ、心強く思いました。このように他者を思いやるマインドを持つ社会成員が増えていくことは、豊かでよりよい社会づくりの原動力になると思います。

松本 被災地の持続的再生にあたっては、6学部16学科それぞれの専門性を活かすことができます。まさに総合大学の強みです。

郡 学生時代は気力体力が充実し、自身の可能性を試すチャンスと時間に恵まれています。勇気をもって一步を踏み出し、新しい分野に果敢にチャレンジして欲しいと思います。

松本 そうですね。一人ひとりが自身の内に備わる「未来の扉」を開いて欲しいと願っています。



郡 「五橋キャンパス」ですね。

松本 グランドデザインを描き終え、いよいよ今年度から次のフェーズ（土木建設事業）に入ります。テーマは「地域と市民に開かれたキャンパス」で、土樋・五橋地区を一体的なキャンパスとして整備していきます。泉、多賀城の両キャンパスを集約・統合することにより、約12,000人が集うエリアになります（東北学院大学アーバンキャンパス計画）。仙台の都心南部に新しい街が誕生することになりますね。五橋キャンパス内には、地域や産業界との連携・協働の拠点となる「未来の扉センター」を設置する予定です。

郡 学校には地域における「広場」の機能

が期待されていると思います。子どもを核にして地域の大人がつながる小中学校に対し、大学には「自立した個人」がテーマごとに集い、異なる価値観を共有し、知を深め、行動へとつなげる結節点のような役割を果たしてもらいたいと切望しています。仙台はもともと生涯学習や社会貢献に対する市民の意欲が高い地域だと認識しています。当地が豊かな自然を残し、環境との調和を図りながら発展してこられたのも、市民の皆さまが街の将来を展望する力を持っていたからだと思っています。

松本 若い時期に、社会に参画するという意識を醸成することも重要ですね。

「学都仙台」ブランドの進化発展を

松本 これからの大学は「教育の質保証」を前提としたうえで、時代や社会の要請に敏感でなくてはならないと考えています。そのひとつに「人生100年時代」に向けた学び直しの機会の提供があると思います。社会人として活躍する期間は伸び、ひとつの仕事にとらわれない複線型のキャリア形成が必要になってくることでしょう。そのための継続的な学びと高度な専門教育は、大学こそ果たせるものです。

郡 知識欲というのは何歳になっても衰えることはありませんね。私自身は年を重ねるごとに増しているという実感

があります。「学都仙台」は学校が多い街というイメージを超えて、「学びの機会が多様で豊富な街」という都市ブランド色も深めていく可能性がありますね。

松本 東北学院大学にはまた、地域の発展を担う人材を輩出するという大きな使命があります。東日本大震災後は復興を先導する人材の育成に力を入れています。学生たちは地域の現場でまちづくりや復興の息吹に触れ、他の学生と気づきを共有しながら知識と感性を磨き、社会的即戦力を鍛えています。復興はまだ途上にあります。東北学院大学が掲げる建学の精神である「地の塩、世の光」の下、



松本 宣郎 まつもと のりお
1970年東京大学文学部西洋史専修課程卒業、1973年同大学院人文科学研究科（当時）修士課程修了。東北大学文学部教授、この間文部省在外研究（英国）。博士（文学：東京大学）。東北大学大学院文学研究科長・文学部長、宮城学院理事長・学院長などを経て、2013年4月より東北学院大学学長。

2018(平成30)年度

後援会総会・ 大学開放プログラム

開催のお知らせ

日時 2018(平成30)年5月26日(土) 9:00-16:00

会場 東北学院大学土樋キャンパス

東北学院大学生のご家族様限定で後援会総会・大学開放プログラムにご招待いたします。後援会総会のほか、ご家族様で楽しめる内容となっておりますのでぜひご参加ください。

要参加申込

(webは5月8日より申し込めます)

タイムスケジュール

受付総合案内所

9:00-14:30
(正門前)

パイプオルガン
コンサート
9:45-10:15
(礼拝堂)



9:00 施設開放 9:00-15:00(各施設)

10:00 後援会総会 10:55-12:00(礼拝堂)

議事
(1)平成29年度後援会庶務報告について
(2)平成29年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について
(3)平成30年度後援会事業計画(案)について
(4)平成30年度後援会収支予算(案)について
(5)その他

個別面談
コーナー 12:00-15:00
(各教室)

キャンパス
見学ツアー
12:20-13:30
先着90名様



学生の就職を考える
セミナー
15:15-16:00(各教室)
1・2年生対象 講師 瀬尾千恵美氏
3・4年生対象 講師 松坂 暢浩氏

12:00 昼食
(弁当配布)
12:00-14:00(6号館西側)

14:00 保護者と
学生のための
教養セミナー
14:00-15:00
(礼拝堂)
講師 堀尾 正明氏

参加申込・詳細はwebへGo!

www.tgu-kouenkai.org/meeting/



2018(平成30)年度

地区後援会

開催のお知らせ

実施期間 2018(平成30)年7月~9月

実施会場 全27地区

プログラム 学務部・学生部・就職キャリア支援部からの説明、若手卒業生による先輩体験談(地区限定)、大学紹介DVDの上映、昼食、個別面談など

今年も7月~9月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全27地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況報告や個別面談などを行います。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

また、夏休み期間で帰省されているご子女とご一緒にご参加いただくこともできます。多数の方々の参加をお待ちしております。

要参加申込

(申込方法は6月中旬に案内予定です)

開催スケジュール

北海道	札幌	9月8日(土)	山形	7月22日(日)
	八戸	7月21日(土)	酒田	8月25日(土)
青森	弘前	7月22日(日)	米沢	9月1日(土)
	青森	8月26日(日)	新庄	9月2日(日)
	横手	8月5日(日)	相馬	7月14日(土)
秋田	大館	8月25日(土)	郡山	7月16日(月・祝)
	秋田	9月9日(日)	福島	いわき 7月21日(土)
	宮古	7月14日(土)		福島 8月4日(土)
	盛岡	8月4日(土)		会津若松 8月5日(日)
岩手	大船渡	8月4日(土)	新潟	新潟 8月26日(日)
	一関	8月25日(土)	東京	東京 7月22日(日)
	北上	9月1日(土)		
	大崎	7月14日(土)		
宮城	大河原	9月1日(土)		
	気仙沼	9月2日(日)		
	石巻	9月8日(土)		



参加申込・詳細はwebへGo!

www.tgu-kouenkai.org/areameeting/



安全再優先、
交通ルールを守って
車を楽しんでいます。



多賀城キャンパスで活動する工学部自動車部の主将を務めています。文系学生による自動車部もありますが、そちらは「走行」中心の活動。私たち工学部自動車部は工学部生らしく「整備」にも力を入れているのが特徴です。2017年度は、東北地方の大学自動車部が参加する東北学生自動車連盟杯での表彰台独占、さらに、学生自動車研究会の整備コンテスト一般学生部門で1位を獲得するなど、好成績をおさめることができました。1秒、2秒を縮めるための惜しみない努力が求められるタイムアタック競技。それは、アスリートの世界にも通じるものがあります。安全最優先、そして交通ルールの遵守という工学部自動車部の伝統を受け継ぎながら、さらなる高みを目指していきたいと思っています。

name: 原田 尚真 さん
class: 工学部 電気情報工学科
grade: 3

STUDENT'S VOICE



自動車部にはあまり良いイメージを持たない方がいるようですが、我が工学部自動車部は違います。「走行」と「整備」を活動の両輪に、真摯に車と向き合っています。

私のイチオシ

ヘルメット

先輩から譲り受けたヘルメットを大切に使っています。愛車のスバル・レガシィもOBの先輩から引き継いだもの。先輩方との密な人間関係もこの部の魅力です。



Student's Relay interview



国際色豊かな方が
自分らしく
いられるんです！



name: 津島 菜摘 さん
class: 教養学部 言語文化学科
grade: 4

STUDENT'S VOICE



さまざまな経験の中で、英語の方がフレンドリーに人間関係が作れると感じてきました。卒業後は、青年海外協力隊の一員として海外で働くことも考えています。

私のイチオシ

ペーパーバック

バッグの中には洋書のペーパーバックも入っています。国内のことだけでなく、世界中のさまざまなトピックにも敏感でいられるように心掛けています。



文化的な背景を踏まえつつ言語について学ぶことのできる教養学部言語文化学科に進学しました。入学後は、学外での国際交流の活動に積極的に参加しています。年1回開催される東北最大級の国際交流イベント「東北大学国際祭り」では運営委員として活動、さらに、学生や社会人スピーカーが地域のステークホルダーに向けてそれぞれのアイデアを発信するイベント「TEDxTohoku University*」では、スピーカーのリクルーティングを担当しました。目の色も髪の色も、話す言葉も異なる世界各国の人々と一緒にいる時に感じた解放感。そんな環境の中でこそ自分らしくいられるということを実感し、「自分の目で世界を見て、経験値を高めたい」という思いがさらに強くなりました。

*TEDxTohoku University
TEDx(x=independently organized event)はTED(Technology Entertainment Design)の精神である「広がる価値のあるアイデア (ideas worth spreading)」を独自に引き継ぎ、世界各地で発足しているコミュニティ。TEDxTohoku Universityは、東北大学チームが主催。



◆ はばたく・かがやく ◆
OB・OG 訪問

石川 仁美 さん

株式会社白木屋
市場開発部市場開発営業課

2011年3月経済学部経営学科卒業。宮城県石巻市出身。卒業後は東京の映像制作会社に就職が決まっていたが、東日本大震災の発生を受け故郷・宮城で働くことを決意。2012年4月、「最適なオフィス環境の提供」を掲げる株式会社白木屋に入社。

「人と人とのつながりを大切に」

学生時代に培ったコミュニケーション力が現在の仕事の原動力になっています。

1940年創業の株式会社白木屋は、オフィス用品の提供に加え、オフィス環境全般での企業向けソリューションビジネスを展開する企業である。石川さんが所属する市場開発営業課は、通販部門を担当。石川さん自身も、新規のお客様を獲得するため、仙台市内の企業、社会福祉系の団体等へ営業活動を行っている。「営業の際に大切にしているのは、お客様の職場環境の改善にはどの商品が最適か、という視点です。お客様との会話やコミュニケーションを通して、弊社の通販システムへの不満にも耳を傾けるようにしています。」

学生時代、石川さんはフィールドワークに積極的に取り組むゼミに所属。『網地島でグリーンツーリズムを』をテーマに、チームのゼミ生7、8人ととも

に課題の抽出や解決策の企画・立案を進めたという。「課題を洗い出す際には、地元の方々話し合う機会を持ちました。音楽のサークル活動で出会った先輩方との交流など、東北学院大学での4年間は、多くの人と関わり合う中で、人と人とのつながりの大切さを知る、そんな時間でした。それが、今の仕事の原動力になっています。」



株式会社白木屋

- 創立1940年
- 代表取締役社長 白木 大作
- 資本金3,000万円
- 従業員数39名 (2018年2月現在)
- 所在地(本社) 千980-0811 仙台市青葉区一番町1-13-14
Tel. 022-282-2121 Fax. 022-282-2118
<http://www.shirokiya.net/>



「お客様第一主義」のもと、オフィス機器・用品の販売、オフィスの新築・移転・リニューアルなど「やりがいのある職場環境作り」を提案。また、「従業員第一主義」を掲げ、フレックスタイム制度の導入や資格取得支援の取り組みを進めている。

今春
就職者座談会

希望の進路を実現できた秘訣

今春、2573名の学部生・大学院生がキャンパスから巣立っていきました。

今号では、就職が決まった卒業生3名に集まっていただき、希望の進路を実現するまでの道のりを振り返ってもらいました。



就職先企業を選んだ理由は何ですか？

山本 複数の企業から内定をいただきましたが、内定後、最も丁寧にフォローしてくれたのがセブン・イレブン・ジャパンでした。就職先の決定を急がせることなく、疑問点の解消にもじっくりと対応していただき、入社後の仕事内容など、自分の働く姿をしっかりと

イメージしたうえで入社を決意することができました。また、海外勤務も含め、いろいろな土地で働く可能性がある点も、自分にとっては大きな魅力でした。

千田 就職先を考えるうえで大切にしたのは、自分の時間も大切にしながら仕事にも集中できる環境、いわゆる「ワーク・ライフ・バランス」でした。本学の卒業生を含む多くの先輩方から、「残業が

少なく福利厚生面も充実している日本郵便なら、その希望がかなえられる」という話を聞き、入社を決めました。また、郵便局を長く利用してきた者の一人として、郵便局が醸し出す雰囲気、空気感が好きだったということもあります。

菅野 職種・業種の選択の前に、東北に残りここで働きたいという思いが強かった私は、10社ほどの企業でイン

ターンシップを体験し、その中で自分の適性や興味のある職種・業種は何かを絞り込んでいきました。最終的に東北電力を選んだのは、福利厚生面の充実はもちろん、社員の方々とお話しする中で、東北という地域への思いと仕事への誇りを強く感じたからです。

面接の際にはどんな点をアピールしましたか？

菅野 目標に向かって努力を怠らない性格だということをアピールしました。具体的には、新入生に対し有意義な学生生活の送り方や大学の仕組みを教えるオリエンテーションリーダーとしての活動を企業の皆さんに説明させていただきました。

千田 目標に向かい熱意を持って取り組めるというのは、菅野さんと同じです。そして、すべきことは何かを自ら考え、自ら行動できるという点を強調しました。高校時代、合唱部の副部長を務め、全国大会に出場するにはどんな練習を行い、どんなモチベーションで集団をまとめていけばいいかを考え抜いた経験について話し、自分の成長の土台となりました。大学では、外国人の方に日本語を教える言語交流サークルに所属していました。その活動の中で、お国柄や文化的な背景も理解しつつ、その方にとって最適な教え方は何かを考える、そうした習慣が身に付いたということもアピール要素の一つとしました。

山本 私が特にアピールしたのは、リーダーシップを発揮したうえでの協調性です。経営学科の授業の一つに、企業の方に戦略提案を行う「ビジネスケース研究」があります。3、4年次に受講したこの授業は、毎週パワーポイントで資料を作って発表、最終的に企業の方に戦略を

提案するというものでした。提案内容の検討の際に自ら議論をリードしたり、資料作成にグループメンバーが集まらない時などはLINEを活用して連絡・調整役を担ったりするなど、協調性の中味について具体的に話すと、企業の担当者の受けも良かったです。この経験は、社会に出るための予習のようなものであり、これからもきっと役立つだろうと思います。

大学からはどんな支援を受けましたか？

山本 就職キャリア支援課の皆さんにご指導いただいた模擬面接が力になりました。本やインターネットから入る情報だけではかなり不安がありました。模擬面接を通して基本的な作法やルールを教えていただき、とても心強かったです。

千田 私の就職活動は、就職キャリア支援課で募集していた青山学院大学での「グループディスカッション対策」でスタートしました。首都圏の学生とのグループディスカッションに挑戦することで、就活に対するモチベーションがアップし、その後の活動の原動力になったと思います。模擬面接では、良いところ、悪いところを端的に指摘していただき、解決策も具体的に示していただきました。

菅野 エントリーシートの書き方から自己PRの展開の方法にいたるまで、就活に必要なイロハのすべてを就職キャリア支援課の皆さんから教わったように思います。就職キャリア支援課の方は、まずこちらの話をしっかりと聞いてくださるので、その言葉一つひとつが貴重で、私を理解してくださっているという安心感がありました。

就職先企業でどんな仕事がしたいですか？

山本 入社後は、売上向上をめざし、コンビニエンスストアごとの経営戦略を練っていく、コンサルティング業務が待っています。そうした仕事を経験した後、商品開発やマーケティングという仕事に移っていきたいです。将来的には、海外での店舗展開に携わり、コンビニエンスストアの市場規模を拡大する仕事をしてみたいです。

菅野 東北電力には、地域との交流に取り組むこの会社ならではの部門があります。電力会社の使命は何と言っても電気の安定供給ですが、同時に地域の発展にフォーカスし、地域に働き掛けていく仕事もあります。いつかはそうした仕事を担当してみたいと考えています。

千田 最初の3年間は、地域の郵便局でさまざまな業務を経験することになります。その後社内試験に応募し合格すると、東北地域を統括する支社で企画コースの仕事にも就くことができます。まずは、郵便・貯金・保険業務をしっかりと覚えることから始めようと思います。

本日はありがとうございました。皆様のご活躍をお祈りしています。



山本 雄貴 やまもと ゆうき (写真左)
経営学部経営学科卒業。株式会社セブン・イレブン・ジャパンに就職。

千田 紗也香 ちだ さやか (写真中)
文学部英文学科卒業。日本郵便株式会社に就職。

菅野 華美 かの はなみ (写真右)
法学部法律学科卒業。東北電力株式会社に就職。

ゼミ研究室探訪

実践重視の学びで 生きた経済を実感。 チームで働く力や 考える力を修得。

アレイ ウィルソン ゼミ

経済学部 経済学科

ゼミではどんな学びに力を入れていますか？

現在の経済状況を踏まえ企業がどんな対策を講じているのかについて研究を行っています。そうした研究の成果に基づき、日本の産業組織や経済が今後どのように変化していくかを考えます。ゼミの目標は、経済が変動する要因を明らかにし、景気の変動や雇用の変化に企業がどのように対応するべきかを提案する力を身につけること。そのために、2年次のゼミ生は日本銀行主催の「日銀グランプリ」や日本経済新聞社主催の「円・ドルダービー全国学生対抗戦」、3年次のゼミ生は日本経済新聞社主催の「日経STOCKリーグ」にそれぞれ参加、調査などの実践的な活動を通して、経済の状況を実感しながら学びを深めています。文系学部の場合、図書資料の講読を中心にゼミ活動が進められることが多いようですが、その点では異色のゼミといえるかもしれません。

実践的な学びに力を入れるのはなぜですか？

理論を学ぶという点では、文献講読にも意義はあります。しかし、実体経済はすべて理論通りに動くというわけではありませんから、それだけでは、生きた経済を実感することはできません。経済がいつまどのように変化し、その変化に対し企業はどんな対策を行っているのかを理解するには、やはり実践的な学びが不可欠であり、さまざまな実践を通してこそ、「なぜそうなのか」を論理的に考える力、そして主体性、情報収集力や分析力といった力が身につくのです。14年前から参加している「日経STOCKリーグ」では今日集まっている学生も含め7回の入選、また、「日銀グランプリ」、「円・ドルダービー全国学生対抗戦」でも複数回の受賞歴があります。



アレイ ウィルソン 教授

ニュージーランド出身
1988年Waikato(ワイカト)大学社会科学部経済学科卒業、1991年小樽商科大学大学院商学研究科博士前期課程修了、1994北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学。経済学博士。1996年東北学院大学経済学部講師。2010年より現在に至る。
受賞:2012年3月STOCKリーグNOMURA Award
専門:ミクロ経済学(産業組織論)
担当:ミクロ経済学入門Ⅰ・Ⅱ(1年次開講)

全国レベルの大会でのこうした成果は、実践を重視したゼミ活動ならではの豊かな実りといえるでしょう。

ゼミ運営で特に配慮していることはありますか？

ゼミ活動を通して学生に身につけてほしいもう一つの力が、チームで働く力です。それは高いコミュニケーション力を獲得することでもあります。そのために私のゼミでは、課題ごとにチームメンバーを組み替え、さまざまな個性を持つメンバーと協働して課題に取り組む経験を数多くさせるように工夫しています。そうした経験を積み重ねることで、他者の考えに耳を傾け、自分の考えを主張しつつ、チーム全体として課題を解決していく、そんな力を身につけてほしいと考えています。

第18回「日経STOCKリーグ」 レポートコンテストで入選



「東北のピカソ」チームメンバー
(左から)鷹木大成さん、熊田智恵美さん、沼辺渉さん、二階堂裕介さん

2018年2月13日、第18回「日経STOCKリーグ」レポートコンテストの入賞レポートが発表され、アレイゼミの3年生チーム「東北のピカソ」の応募したレポートが入選しました(大学・専門学校部門へ参加した130校682チームのレポートの中から、17校34チームが入選)。

STOCKリーグは、中・高・大学生・専門学校生を対象としたコンテスト形式の株式投資学習プログラムです。経済・株式投資学習と投資テーマに沿ったレポート作成等を通じて、社会を見る目を養い、自ら考え、学ぶ力を身に付けることを目的としています。

入選レポート「“えっこ”と“おとっこ”～地域アートで東北活性化～」は、青森県田舎館村で行われる田んぼアートや、宮城県仙台市で行われる定禅寺ストリートジャズフェスティバルといった地域アートによる地域活性化に着目したもの。電話でのインタビューや現地調査、書籍・インターネットを通じた研究、経済指標やオリジナル指数を用いた分析に取り組んだ。



www.tohoku-gakuin.ac.jp/info/top/180214-3.html

／羽ばたけ、ルーキー！／

1軍マウンドに立ち、故郷・石巻に元気を届けたい。

name:
鈴木 遼太郎 さん

job:
北海道日本ハムファイターズ

grade:
プロ野球ルーキー

すずき りょうたろう
宮城県石巻市出身。宮城県石巻西高等学校から東北学院大学教養学部人間科へ進学。「文部両道」を掲げる硬式野球部では2年次から主戦投手に。卒業研究のテーマは、「マウンドの有無による投球の変化」。



鈴木選手が大切にしているのは「攻める気持ち」。サインを求められた時も、この言葉を書くそうです。目標とする選手は、ともに本学出身の東北楽天ゴールデンイーグルス・岸投手、そして埼玉西武ライオンズ・本田投手です。



北海道日本ハムファイターズ新人合同自主トレの様子(写真左端)

東北学院大学硬式野球部から、また一人プロ野球選手が誕生しました。2017年秋のドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから指名を受けたのは、仙台六大学野球で通算18勝をあげた本学のエース、鈴木遼太郎選手です。入学当初、「将来は体育の先生に」という将来像を描き、教職課程の勉強もしていたという鈴木選手ですが、2年先輩の本田圭佑さんが埼玉西武ライオンズに入団したことをきっかけに、プロ野球という道を意識するようになったといいます。「4年次の夏、本田さんの所属する埼玉西武ライオンズ2軍と練習試合を行いました。その時のピッチングに手応えを感じ、本田さんからも「プロでやれるぞ」という言葉をかけていただき決意が固まりました」。

プロ野球のキャンプを初めて経験した鈴木選手は、チームの印象をこう話します。「選手の自主性を大切にするチームです。全体練習の時間が短い分、自主練習も含め練習をどう充実させるかが重要になります。この点は、授業を最優先する東北学院大学硬式野球部も同様でした。大学での経験も生かしながら、1軍昇格を目標に挑戦を続けていきます」。宮城県石巻市出身の鈴木選手は、故郷への思いもひとしおです。「被災地の復興はまだ道半ば。プロ野球の世界で活躍することで、地元の皆さんに元気を届けたいと思います」。

クラブ紹介 東北学院大学 宗教部 聖歌隊

声楽の専門家の指導のもと、歌うことの喜びを知る。

本学宗教部に属する聖歌隊は、大学礼拝での奉仕のほか、入学式や卒業式などの式典、「クリスマスのメサイア合唱」や「宗教音楽の夕べ」などの際にその歌声を披露しています。部員数が減少した時期もありましたが、徐々にその数を回復、現在は約25名の学生が参加し活発な活動を行っています。

「東京藝術大学大学院独唱科を修了し、宗教曲のソリスト・指揮者としても活躍する中川郁太郎特任准教授に、発声など合唱の基礎から教えていただけることが一番の魅力」という佐藤さん。一方1年先輩の大橋さんは聖歌隊の魅力を次のように話します。「歌うこと自体の楽しさはもちろんありますが、聖歌隊には個性的な部員が多く、練習や発表を通して仲間からさまざまな刺激や気づきが得られる点も大きな魅力だと思います」。

聖歌隊では、週1回を基本に、泉キャンパスの礼拝堂1階にある聖歌隊室や音楽室で練習を行っています。また、式典やクリスマスメサイアなどの開催前には、男声合唱団のグリークラブや女声合唱団のキャロラズとの合同練習も実施。3キャンパスで行われるクリスマス礼拝の際には、一般の方々とともに讃美歌を歌う機会もあり、聖歌隊メンバーならではの貴重な経験となっています。

聖歌隊には、クリスチャンの学生も、そうでない学生もいます。ともに讃美歌を歌い、豊かなハーモニーをつくり出すこと。その先には、歌うことの喜びがあります。



STUDENT'S VOICE



大橋 奈々 さん
経済学部経済学科3年
「小学校時代から続けてきた合唱。たくさんの皆さんの前で歌うことが好きで、聖歌隊に参加しました」



佐藤 志穂 さん
文学部歴史学科2年
「現代的なものよりも古風なものに興味があります。聖歌隊の存在を知った時、「ここだ!」と思いました」

年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。

保護者の皆さまにも覚えていただき、ご子女の円滑なる学校生活にお役立てください。

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**多**印は多賀城キャンパス、**泉**印は泉キャンパスの日程です。

	前期	後期
平成30年 4月	2日(月) 新入生オリエンテーション(～7日)	7日(金) 授業開始(土多泉)
	3日(火) 入学式	8日(土) 地区後援会(札幌・石巻)
	9日(月) 授業開始(土多泉)	9日(日) 地区後援会(秋田)
	14日(土) スプリングカレッジ	28日(金) 9月期卒業式
5月	8日(火) 春季特別伝道礼拝(多泉)	7日(日) 大学祭(泉～8日)
	9日(水) 春季特別伝道礼拝(土)	10日(水) 秋季特別伝道礼拝(多泉)
	15日(火) 創立記念日[創立132周年]	11日(木) 秋季特別伝道礼拝(土)
	26日(土) 後援会総会(土)	13日(土) 大学祭(土多～14日)
6月	2日(土) 対青山学院大学総合定期戦(～4日)	11月 15日(木) 推薦入試
	22日(金) 対北海学園大学総合定期戦(～24日)	
7月	14日(土) 地区後援会(宮古・大崎・相馬)	7日(金) 泉キャンパスクリスマス
	16日(月祝) 地区後援会(郡山)	13日(木) 大学クリスマス(土泉)
	21日(土) 地区後援会(八戸・いわき)	14日(金) 大学クリスマス(多)
	22日(日) 地区後援会(弘前・山形・東京)	公開東北学院クリスマス(土)
30日(月) 授業終了(土多泉)	27日(木) 冬休み開始(土多泉)	
8月	3日(金) 夏休み開始(土多泉)	平成31年 7日(月) 集中講義(土多泉～9月6日)
	サマーカレッジ(～4日)	10日(木) 冬休み終了(土多泉)
	4日(土) 地区後援会(盛岡・大船渡・福島)	11日(金) 授業開始(土多泉)
	5日(日) 地区後援会(横手・会津若松)	19日(土) 大学入試センター試験(～20日)
	25日(土) 地区後援会(大館・一関・酒田)	22日(火) 授業終了(土多泉)
	26日(日) 地区後援会(青森・新潟)	
29日(水) 集中講義(土多泉～9月6日)	2月 1日(金) 一般入学試験 前期日程(～3日)	
9月	1日(土) 地区後援会(北上・米沢・大河原)	3月 6日(水) 一般入学試験 後期日程
	2日(日) 地区後援会(気仙沼・新庄)	26日(火) 卒業式

*日程は変更となる場合もあります。

キャンパスニュース

NEWS

入学式を挙行了しました

2018(平成30)年度東北学院大学入学式が4月3日(火)、カメイアリーナ仙台において挙行され、学部・大学院をあわせて2,878名の新生を迎えました。

松本学長は「入学される皆さんはそれぞれに高校での学びを終え、東北学院大学の一員となられました。私たちは一人ひとりをかけがえのない人格として尊重し、受け入れます」と告辞を述べました。

入学式終了後は後援会入会式、全学ガイダンスが行われ、新生は大学という新たなステージの第一歩を踏み出しました。



五橋キャンパスの基本設計がまとまりました

本学は、教養教育型の総合大学として都市型交流キャンパスを創出するために、伝統ある土樋キャンパスと地下鉄五橋駅に直結した五橋キャンパスを一体的な「ひとつのキャンパス」とすることを目指しています。

この度、2023年4月より供用開始予定の五橋キャンパスの基本設計がまとまりました。今後は、基本設計を基にして、より詳細な実施設計を行います。設計概要や進捗は随時ホームページにて公開いたしますのでご覧ください。



2017(平成29)年度課外活動団体の主な活動状況

[体育会]

課外活動団体	大会・活動内容	結果
剣道部	東北学生剣道優勝大会(団体:男子)	優勝
	全日本学生剣道優勝大会	ベスト16
少林寺拳法部	少林寺拳法世界大会 IN カリフォルニア、USA【単独級拳士の部】	優勝
	少林寺拳法全日本学生大会【段外単独演武の部】	第1位
柔道部	東北学生柔道体重別団体優勝大会	優勝
準硬式野球部	東北地区大学準硬式野球秋季リーグ戦	優勝
水泳部	北部学生選手権水泳競技大会(男子)	優勝
ソフトテニス部	会長杯争奪東北学生ソフトテニス大会(女子)	優勝
バスケットボール部	東北大学バスケットボールリーグ(女子)	優勝
ラグビー部	全国大学ラグビーフットボール選手権東北・北海道地区代表決定戦	優勝

[学生会、クラブ連、文化会、工学部]

課外活動団体	大会・活動内容	結果・活動等	
セツルメント会	西多賀、育児院ワークキャンプ	西多賀病院 他	
S. W. E	卒業定期演奏会	日立システムズホール仙台	
プレクトラムソサエティ	定期演奏会	イズミティ-21	
奇術研究会	定期発表会	若林区文化センター	
r e M i x	卒業ライブ	LIVE STUDIO RIPPLE	
落語研究会	50期生追い出し落語会	エルパーク仙台	
応援団	全日本学生応援団記念祭	出場	
アンチェイン	U-23地区選抜対抗戦	出場	
LIBELO	全国大学同好会サッカー選手権大会	出場	
写真部	6月展	宮城県美術館	
クラブ連ヨット部	Y-15級全日本選手権大会	出場	
工学部	空手道部	東日本空手道選手権大会	出場
	柔道部	全日本理工科学生柔道優勝大会	出場
	カート部	全国学生カート選手権大会	出場
	エコノパワー研究会	ソーラーバイシクルレース	出場
	合気道部	全国学生合気道演武大会	出場

東北学院大学後援会 資格取得報奨制度

資格取得の奨励と学生の資質向上を目的として、後援会費を納入いただいている現役の大学院生、学部生を対象に、在学中の国家資格取得者やTOEIC、TOEFLIBTなどの基準点取得者へ、資格取得報奨金を給付する制度です。

該当する学生の方は、就職キャリア支援課(各キャンパス就職キャリア支援係)備付の申請用紙に必要事項を記入のうえ申請してください。



詳細はwebへGO!

www.tohoku-gakuin.ac.jp/
campuslife/shikaku/bonus.html

学務部より **manaba(マナバ)でまなぶ** 学務部長 加藤 健二

授業における学生と教員との双方向的なやり取りを促進するために、本学では昨年度からmanaba course(マナバコース:略してマナバ)という学修支援システムを全学的に稼働させています。この仕組みは、授業資料の配付、質問と回答、学生同士の討論、小テストの実施、レポート提出、出席確認等をスマホやPCとインターネットを介して行うもので、そのすべての記録を残しておくことができます。

そのようなものを使わなくとも直接教室で対話すればよいのではないと思われるかも知れませんが、出来ればそうしたいのですが、200人などという大人数の授業となると個別に対話できる人数も限られますし、そのような大勢の中では発言しにくいという学生も多いです。今の学生はスマホでの文字入力はお手のものなので、教員の質問に対し、即座に長文の回答を返すこ

とができ、マナバを使うと、そうした回答を、また回答の集計結果を即座に教室のスクリーンに映すことができます。それをもとにさらに議論を深めることができます。また、授業への発言は授業時間以外でも行えますので、時間に縛られないやり取り、学修も可能となります。

既に多くの授業でマナバが利用されており、学生の評判もよいようです。教員達は、より学生のやる気を引き出せるようなマナバの活用法について、学生の反応から学びながら、試行錯誤を続けています。

本学では、学生の学修を深く充実したものにすべく、さまざまな工夫を進めています。折を見て、大学での授業の様子などについて話を聞いていただければ、学生本人の学修意欲も高まることと思います。どうぞよろしくお願いたします。

学生部より **課外活動団体の活躍目覚ましく** 学生部長 石垣 茂光

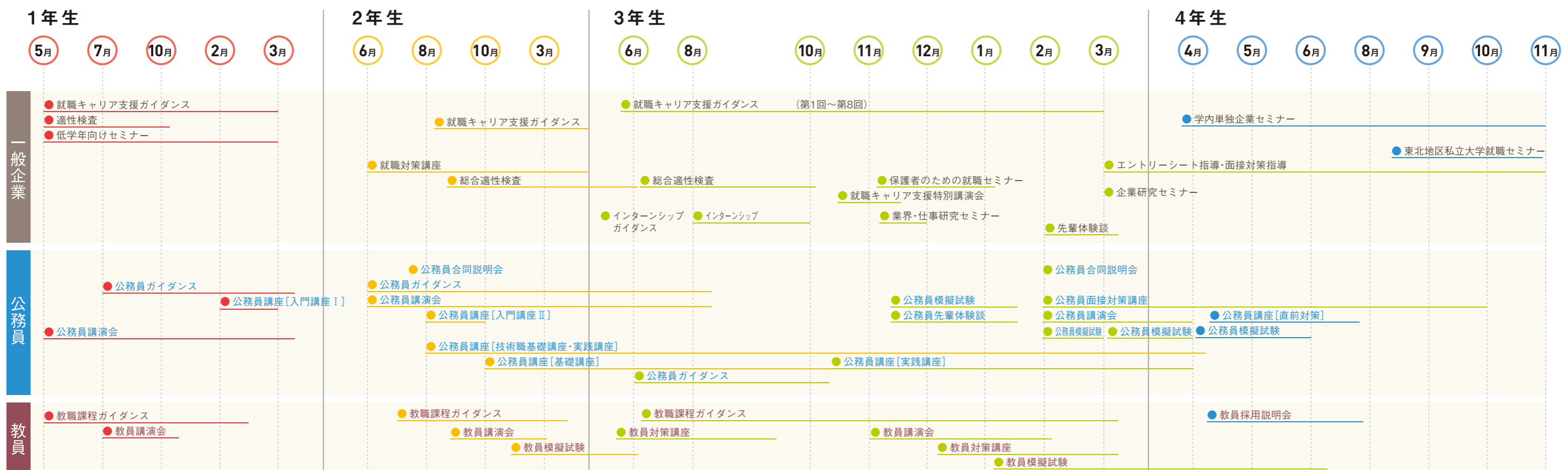
昨年度も本学のさまざまな部が活躍してくれましたので、その一端をご紹介いたします。まず、少林寺拳法部では単独級拳士の部で世界大会(カリフォルニアにおいて実施)において優勝するという快挙を成し遂げました。また全日本大会においても優秀な成績をおさめています。空手道部・弓道部・剣道部・硬式テニス部・柔道部・ソフトテニス部・バレーボール部・ラグビー部・陸上競技部はそれぞれ東北地区大会で優勝し、全国大会に出場いたしました。準硬式野球部・水泳部・バスケットボール部・ヨット部も東北地区大会において優勝いたしました。個人では硬式野球部員がプロ野球のドラフト指名を受けました。文化活動においては、フォークソング愛好会・応援団・チアリーディングチーム・S.W.E・写真部・奇術部・アカベラのreMix・落語研究会などがそれぞれ発表会や大会に参加しております。ここで紹介できなかった課外活動団体も多数あります。このよ

うな活動の様子は大学のホームページにリンクされているTG MINDで随時紹介しております。ぜひともご覧いただきますようお願いいたします。

課外活動団体への支援のほかに、個々の学生には奨学金を通じた支援も行っております。東日本大震災から7年が経過いたしました。今まで通り東日本大震災被災学生支援給付奨学金も継続しており、学業成績が優秀な学生には給付奨学金を支給しています。また、家計状況が急変し、修学困難となった場合には当該学期の授業料相当額を給付する東北学院大学緊急給付奨学金も用意されております。

学生部はいろいろな場面で学生と接する部署です。いつでも、どんなことでも、気軽にお立ち寄りくださるようご子女にお伝えくださればと思います。

就職キャリア支援部より **就職支援スケジュール**





TU 東北学院大学

土樋 キャンパス

〔大学院〕文学研究科／経済学研究科／
経営学研究科／法学研究科
〔学 部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各3・4年）
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1
TEL 022-264-6421（総務課）
FAX 022-264-3030（ ☎ ）

多賀城 キャンパス

〔大学院〕工学研究科
〔学 部〕工学部
〒985-8537 多賀城市中央1丁目13-1
TEL 022-368-1116（庶務係）
FAX 022-368-7070（ ☎ ）

泉 キャンパス

〔大学院〕人間情報学研究科
〔学 部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各1・2年）／教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1
TEL 022-375-1121（庶務係）
FAX 022-375-4040（ ☎ ）

東北学院大学後援会通信GROWTH(グロース)vol.32

発行日／2018(平成30)年4月
編 集／東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)
発 行／東北学院大学後援会
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1 TEL 022-264-6411 FAX 022-264-3030
E-mail kouenkai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL <http://www.tgu-kouenkai.org/>
制 作／Hi creative inc.

GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙-3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようという期待が本紙に込められています。

【本紙における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】

本紙に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本紙に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本紙の無断転載はお断りしております。

■本紙に関するご意見・ご要望をお待ちしております。